

年の自分を思い出します。

私は体育会少林寺拳法部に所属して、準備役員という形でオリキャンに参加する機会があり、あのすばらしいオリキャンを少しでも手伝えればと思い、そして何よりも自分自身の為に準役をすることにしました。

統制管理局の資材隊となり、いざ何をするのかと考えた時に、そのイメージのない事に気付き、やはり新入生には見えない裏の仕事であるということを実感しました。

自分の仕事は、本番のいつどこで何がいくつ必要か把握し、貸し出すことだったので、学生課や倉庫へ行き、リヤカーで運び、マニュアルを確認し、チェックリストを作る、と資材に追わ

## ありがとうオリキャン

新入生オリエンテーションキャンプフェロー  
教育学部教科教育学科二年生 尾原美香

、92オリキャンで、私はとつても大事な宝物を得た。仲間。ファイヤー、二五〇〇人が一つになる瞬間、ものすごい力を感じた。総局長を胴上げ。一人一人本当に輝いていた。何かを精一杯やりとげた満足感。打ち込んできたものが終わっ



れた四ヶ月間でした。

そして本番。各局・各隊・各個人がそれぞれの仕事をこなし、嵐のように四日間を過ぎ去りました。あの桟橋での見送り風景が脳裏に焼きついています。

部との両立で忙しい時もありましたが、オリキャンで得た経験と友情は、私の生涯のかけがえのない宝物です。

てしまう達成感、涙がとまらなかつた。言葉にはできない感動があった。新入生もきつと何かを感じたと思う。皆で創り上げたオリキャンだから。宮島で、宝島で、みんなはどんな宝物を見つけたんだろう。

二五〇〇人がオリキャンバカになる、こんな事、二度とないと思う。今しかできないことだから思いっきり青春なんだ。大学生活を充実させたい。後悔したくない。何も残らない四年間なんてつまらないから……。自分から追い求め動いていかないと何も始まらない。くすぶっていかないと何も始まらない。自由な時間をどう過ごすかは自分次

## オリキャンを終えて

教育学部教科教育学科 一学年  
堀田清美

入学して数日。まだまだ大学生活に不慣れで、交友関係も浅い頃。そんな時に私たちのオリキャンは始まりました。何も知らずに申し込んだオリキャン切符は、私たちに大きなものを与えてくれました。はじめての出会いから一週間の間。その間自分と考え方も進む方面も違う仲間たちと、毎日集まり夜おそくまで、オリキャン当日を目指して準備に励みました。そうした中、今でも心に残るキャンプファイヤーでみんなが持ったロウソクの火はとでもきれいで「広大でよかった」と感動したのを覚えています。たくさんの思い出と友達をくれたオリ

第。四年間誰にも負けないうとっておきのたくさんの経験をしたいから、私はいろんなことに挑戦したい。チャンスがある限りそれを最大限生かしたい。オリキャンはそのチャンスだと思う。自分のエネルギーを思いきりぶつけられる。たくさんの仲間と思いきり青春できる。チャンスいっぱいオリキャンすべてに、心からありがとう。

キャンは、もちろん成功に終わりました。この成功は、ひとえに私たちと共にオリキャン準備をして下さったフェローさんと私たちが宮島に行く数日前から先に準備をはじめあたたかく迎えて下さったスタッフの皆さんの何カ月にも亘る努力のおかげです。心からお礼をいいます。そして、今年で終わりだといわれているオリキャンをなくしてはいけないうと声を大にしていいたいです。このすばらしい広大の行事を続けてほしい、いや続けることがこのオリキャンに参加した私たちの義務ではないでしょうか。